

2026年12月期 第1四半期
決算説明資料



SEPTENI

2026年5月13日

証券コード 4293

株式会社セプテーニ・ホールディングス

INDEX

- 01 四半期連結決算概要
- 02 マーケティング・コミュニケーション事業
- 03 ダイレクトビジネス事業
- 04 データ・ソリューション事業
- 05 株主還元施策について
- 06 業績予想の修正および進捗状況
- 07 補足資料

ファクトシートのダウンロードは[こちら](#) (xlsx形式)

2026年12月期 第1四半期決算 エグゼクティブサマリ

FY2026/1Q 実績

収益

マーケティング・コミュニケーション事業を中心に
既存顧客との取引拡大の加速や新規顧客の獲得により、前期比**+11.6%の増収**

Non-GAAP
営業利益

筋肉質な事業基盤の構築が進み、前期比**+51.3%の大幅増益**

親会社所有者
帰属当期利益

増収増益に加え、持分法投資利益等も好調に推移し、前期比**+74.1%の大幅増益**

通期業績予想の修正

- 1Qの好調な実績を踏まえ、通期業績予想を**上方修正**
中期経営計画の**FY2027目標数値**である**Non-GAAP営業利益54億円**について**1年前倒しでの達成**を見込む

株主還元

- 株主により早いタイミングで当社の成長成果を享受いただくべく、**期中の剰余金配当実施**を決定
- より多くの株主に当社株式を中長期的に保有いただくことを目的に、**株主優待制度の導入**を決定

2026年12月期 通期業績予想の修正（連結）

- 1Q実績における既存顧客拡大、新規顧客獲得の寄与による増収と、これまで進めてきた構造改革の成果としての生産性向上などの好調さや足元の状況を踏まえ、**通期業績予想を上方修正** 中期経営計画のFY2027目標数値である**Non-GAAP営業利益54億円について1年前倒しでの達成**を見込む

(単位：百万円)	2025年12月期 実績	2026年12月期 前回発表予想	2026年12月期 今回発表予想	増加率	予想成長率 (前期比)	
収 益	30,309	32,420	33,300	+2.7%	+9.9%	
Non-GAAP営業利益	4,414	4,800	5,400	+12.5%	+22.3%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,491	4,350	5,250	+20.7%	+50.4%	
1株当たり当期利益（EPS）（円）	16.83	20.97	25.31	+4.34	+8.48	
【参考】	売上高	148,783	158,600	163,000	+2.8%	+9.6%
	対売上高収益率	20.4%	20.4%	20.4%	—	—
1株当たり配当金（円）	18.00	18.00	期中	9.00	±0	±0
			期末	9.00		

01

四半期連結決算概要

FY2026/1Q（1-3月）決算ハイライト

- 売上高、収益、Non-GAAP営業利益のいずれも四半期業績での**過去最高を更新**
さらに持分法投資利益等も貢献し、親会社の所有者に帰属する四半期利益は**+74.1%の大幅増益**
修正後業績予想に対しても収益はオンライン、
Non-GAAP営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は好調な進捗

	金額	前年同期比	対修正後 業績予想進捗
収 益	9,155百万円	+11.6%	27.5%
Non-GAAP営業利益	2,377百万円	+51.3%	44.0%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,654百万円	+74.1%	50.5%
1株当たり四半期利益（EPS）	12.79円	+5.44円	-
【参考】	売上高	47,510百万円	+13.5%
	対売上高収益率	19.3%	-0.3Pt

FY2026/1Q (1-3月) 決算ハイライト (セグメント別)

マーケティング・
コミュニケーション事業

既存顧客の拡大、新規顧客の獲得が進み**増収増益**

ダイレクトビジネス事業

既存顧客の拡大により**増収、大幅増益**

データ・ソリューション事業

一部採用を再開しつつ人員適正化によりNon-GAAP営業利益は**二桁増益**

(単位：百万円)

2025年12月期 1Q

2026年12月期 1Q

前年同期比

対修正後
業績予想進捗

	2025年12月期 1Q	2026年12月期 1Q	前年同期比	対修正後 業績予想進捗	
マーケティング・ コミュニケーション	収 益	6,107	6,945	+13.7%	28.9%
	Non-GAAP営業利益	2,044	2,603	+27.3%	37.2%
	【参考】売上高	36,452	41,516	+13.9%	-
ダイレクトビジネス	収 益	1,555	1,729	+11.2%	25.4%
	Non-GAAP営業利益	274	471	+72.1%	33.7%
	【参考】売上高	5,190	6,097	+17.5%	-
データ・ ソリューション	収 益	741	770	+4.0%	21.4%
	Non-GAAP営業利益	87	141	+61.6%	22.0%

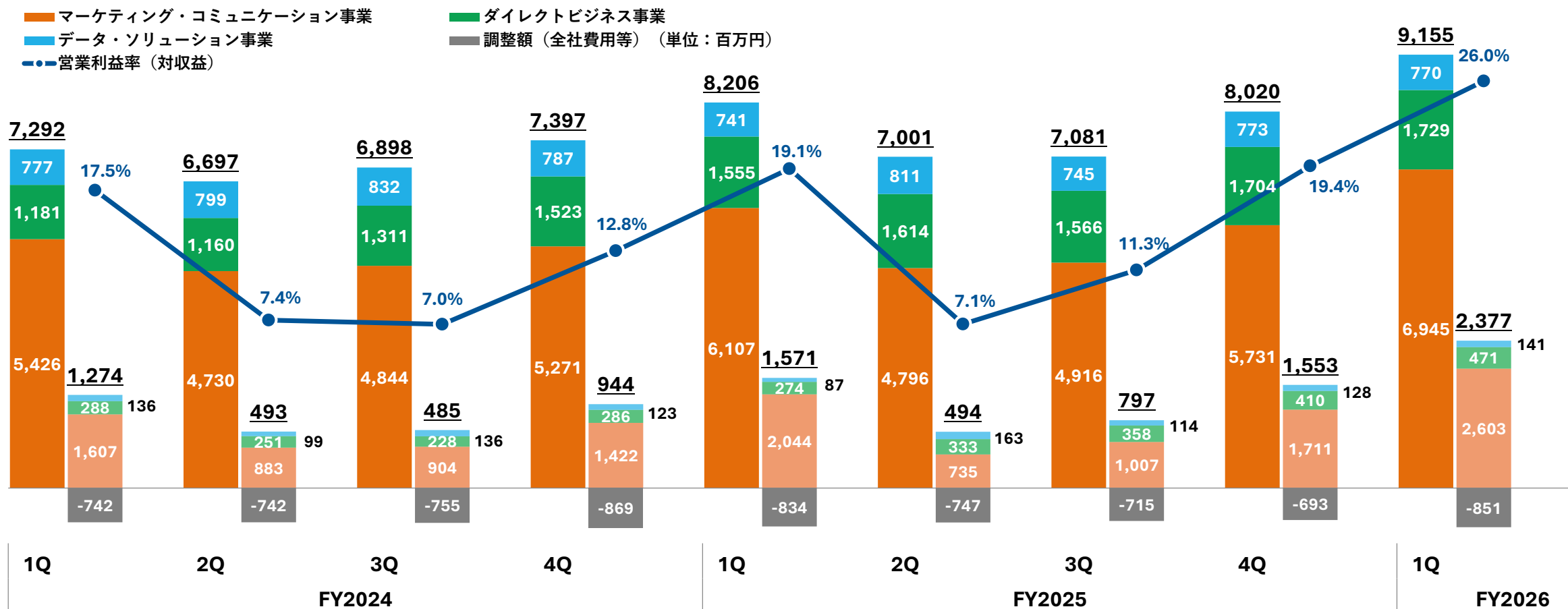
FY2026/1Q（1-3月）連結P/L

- 売上高、収益の二桁増収に加え、Non-GAAP営業利益は**前期比+51.3%の大幅増益**
持分法投資利益等も好調な着地となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益も**前期比+74.1%の大幅増益**

(単位：百万円)	2026年 12月期 1Q				2025年12月期 1Q		
	金額	対売上高比率	対収益比率	前年同期比	金額	対売上高比率	対収益比率
収 益	9,155	19.3%	100.0%	+11.6%	8,206	19.6%	100.0%
売上総利益	7,184	15.1%	78.5%	+12.9%	6,364	15.2%	77.6%
販売管理費	4,824	10.2%	52.7%	+0.3%	4,810	11.5%	58.6%
Non-GAAP営業利益	2,377	5.0%	26.0%	+51.3%	1,571	3.8%	19.1%
営業利益	2,579	5.4%	28.2%	+65.6%	1,557	3.7%	19.0%
持分法投資利益等	926	1.9%	10.1%	+71.0%	541	1.3%	6.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,654	5.6%	29.0%	+74.1%	1,524	3.6%	18.6%
【参考】売上高	47,510	100.0%	—	+13.5%	41,863	100.0%	—

連結業績四半期推移

すべての事業が増収増益となり、連結のNon-GAAP営業利益率は前期比+6.8Ptと大きく改善



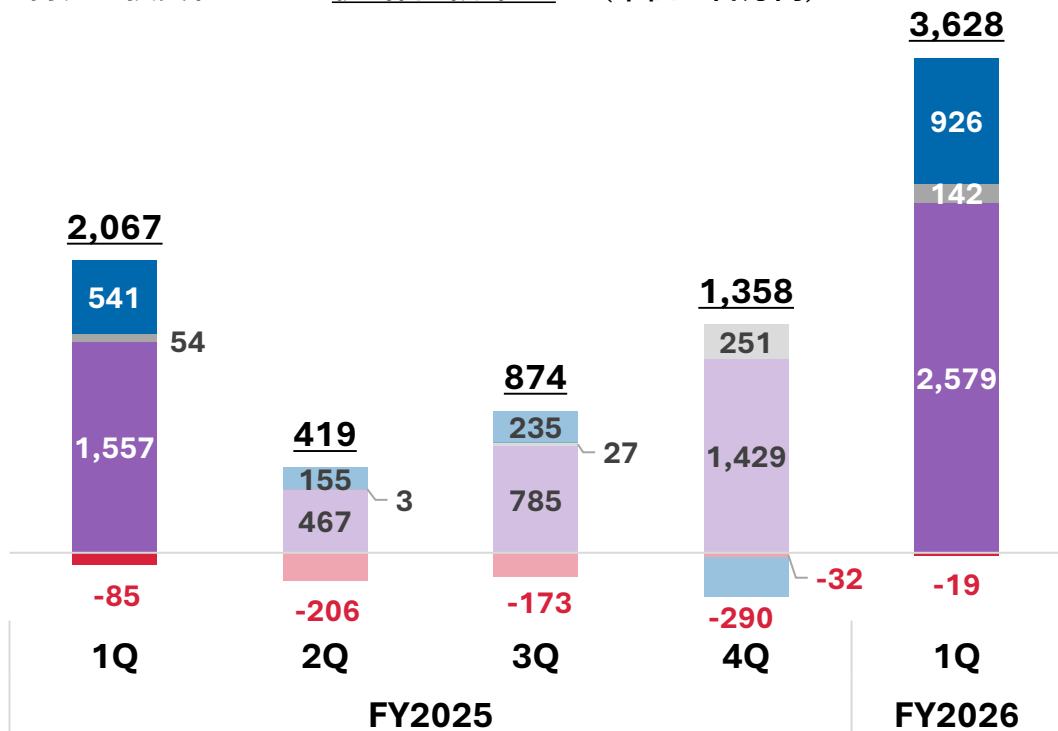
* その他事業、セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

連結 税引前当期利益 四半期推移 (非継続事業組替え後)

持分法適用関連会社のコムスマ(株)における第三者割当増資実施の影響で持分変動利益を計上、電通デジタルを中心とした持分法投資利益は堅調に推移

四半期推移

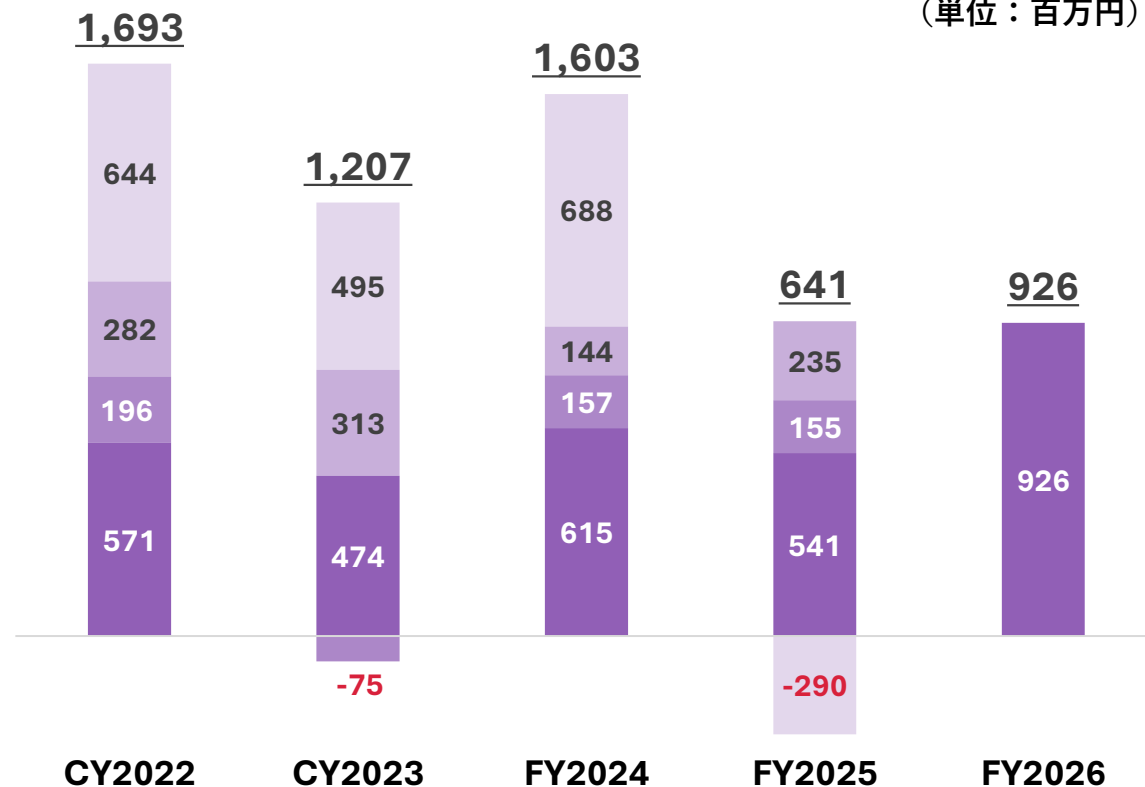
■ IFRS営業利益 ■ 金融収益 ■ 金融費用
■ 持分法投資利益 ■ 税引前当期利益 (単位：百万円)



持分法投資損益・通期推移

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q 合計

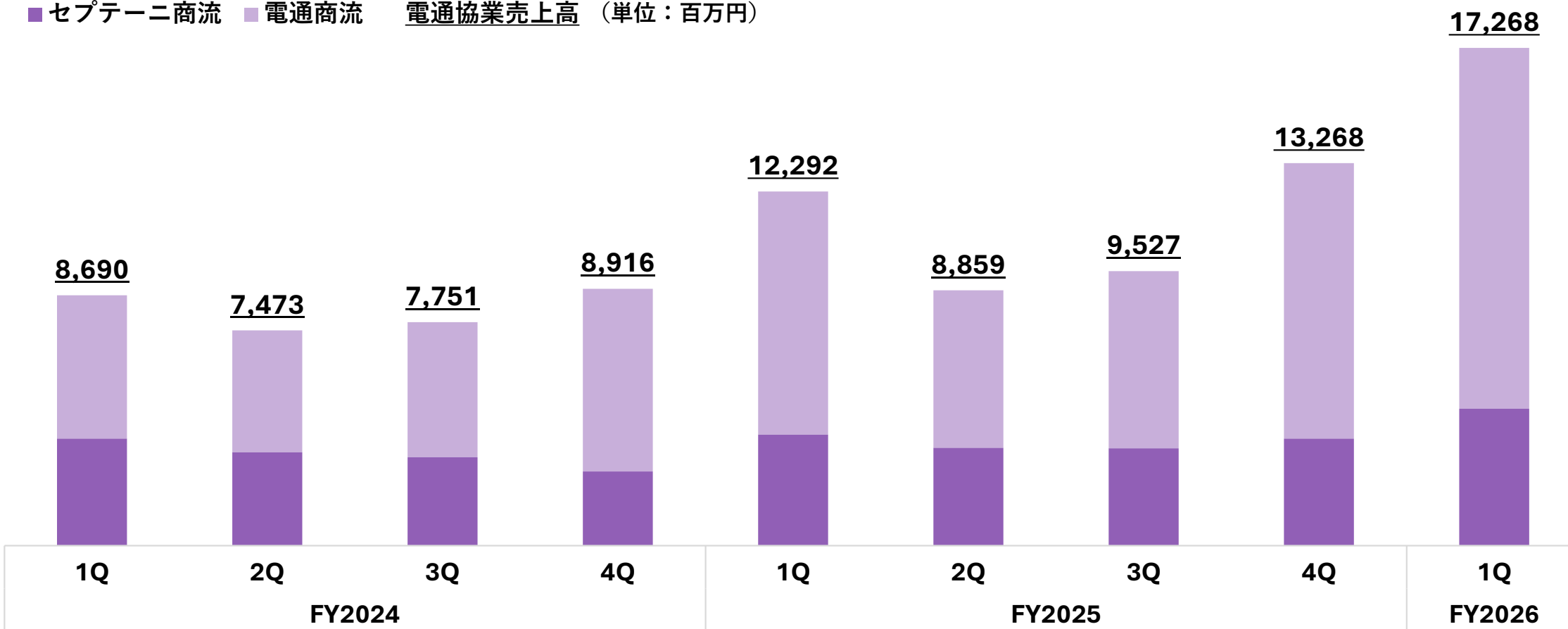
(単位：百万円)



電通グループとの業務提携の進捗

引き続き統合提案のニーズが高く、協業売上全体としては**前期比+40.5%**と大きく拡大

■ セプテーニ商流 ■ 電通商流 電通協業売上高 (単位：百万円)

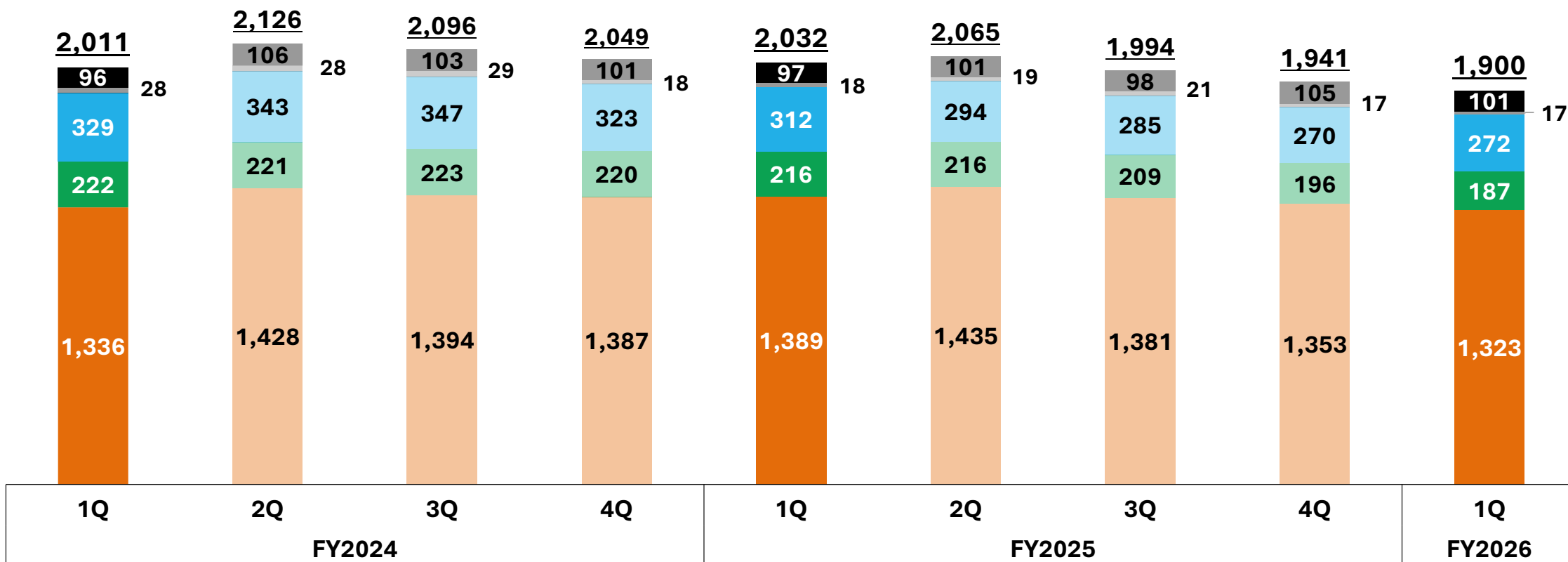


* FY2025/1Qにおける電通協業売上高を遡及修正

連結従業員数推移

生産性の向上により組織の筋肉質化が進む
 データ・ソリューション事業にてエンジニア中心に採用を再開、
 グループ全体としても業績と組織状況を注視しながら中途採用を徐々に再開予定

■ マーケティング・コミュニケーション事業
 ■ ダイレクトビジネス事業
 ■ データ・ソリューション事業
 ■ その他事業（HRテクノロジー、新規事業開発）
 ■ 持株会社（単位：名）



* FY2024/1Q~3Qにおける海外子会社の従業員数を一部遡及修正

02

マーケティング・コミュニケーション事業

マーケティング・コミュニケーション事業 業績概況

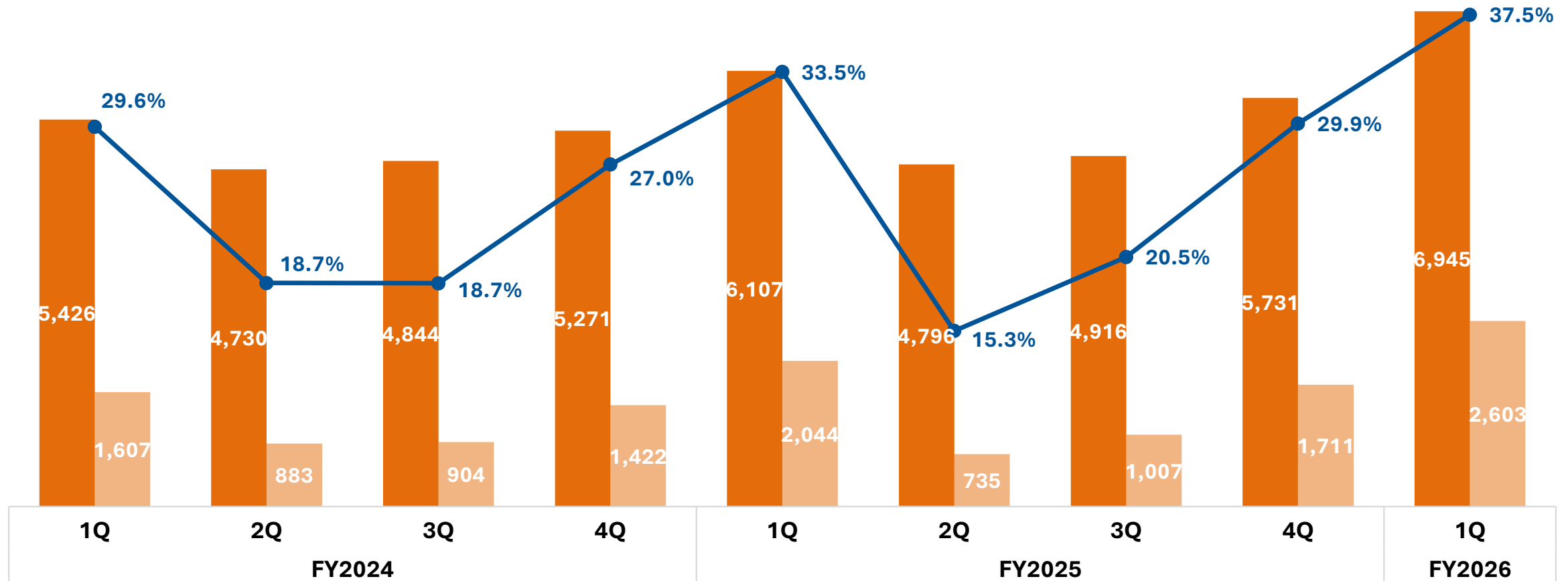
既存顧客の拡大や新規顧客の獲得に加え、季節性の強さもあり、
売上高・収益ともに**前期比+14%の増収**、Non-GAAP営業利益は**前期比+27%の増益**

(単位：百万円)	2026年 12月期 1Q				2025年 12月期 1Q		
	金額	対売上高比率	対収益比率	前年同期比	金額	対売上高比率	対収益比率
収 益	6,945	16.7%	100.0%	+13.7%	6,107	16.8%	100.0%
売上総利益	5,815	14.0%	83.7%	+13.3%	5,134	14.1%	84.1%
販売管理費	3,213	7.7%	46.3%	+3.9%	3,092	8.5%	50.6%
Non-GAAP営業利益	2,603	6.3%	37.5%	+27.3%	2,044	5.6%	33.5%
【参考】 売上高	41,516	100.0%	—	+13.9%	36,452	100.0%	—

マーケティング・コミュニケーション事業 四半期業績推移

- 顧客単価の上昇とともに従業員一人当たりの生産性も改善し、
Non-GAAP営業利益率は前期比+4.0Pt上昇

■ 収益
 ■ Non-GAAP営業利益（単位：百万円）
 ● 営業利益率（対収益）



マーケティング・コミュニケーション事業 トピックス

- AIとクリエイティブの融合を推進する新会社「AIクリエイションラボ」を設立、認知領域での高品質なクリエイティブ制作を中価格帯で提供

デジタルマーケティング支援事業



ダイレクトマーケティング支援事業

dentsu direct

AI CRE8ION LAB

ブランド広告における伝統的なクリエイティブ知見と最先端の生成AI実装力を高度に併せ持つ
ハイブリッド人材「AI対応型クリエイティブディレクター」を組織化



独自プロダクトを活用し、本来は多くのコストと工数を必要とするTVCMやコネクテッドTVなどの認知領域クリエイティブを
高品質なまま、より速く、より多く、中価格帯で提供

03

ダイレクトビジネス事業

ダイレクトビジネス事業 業績概況

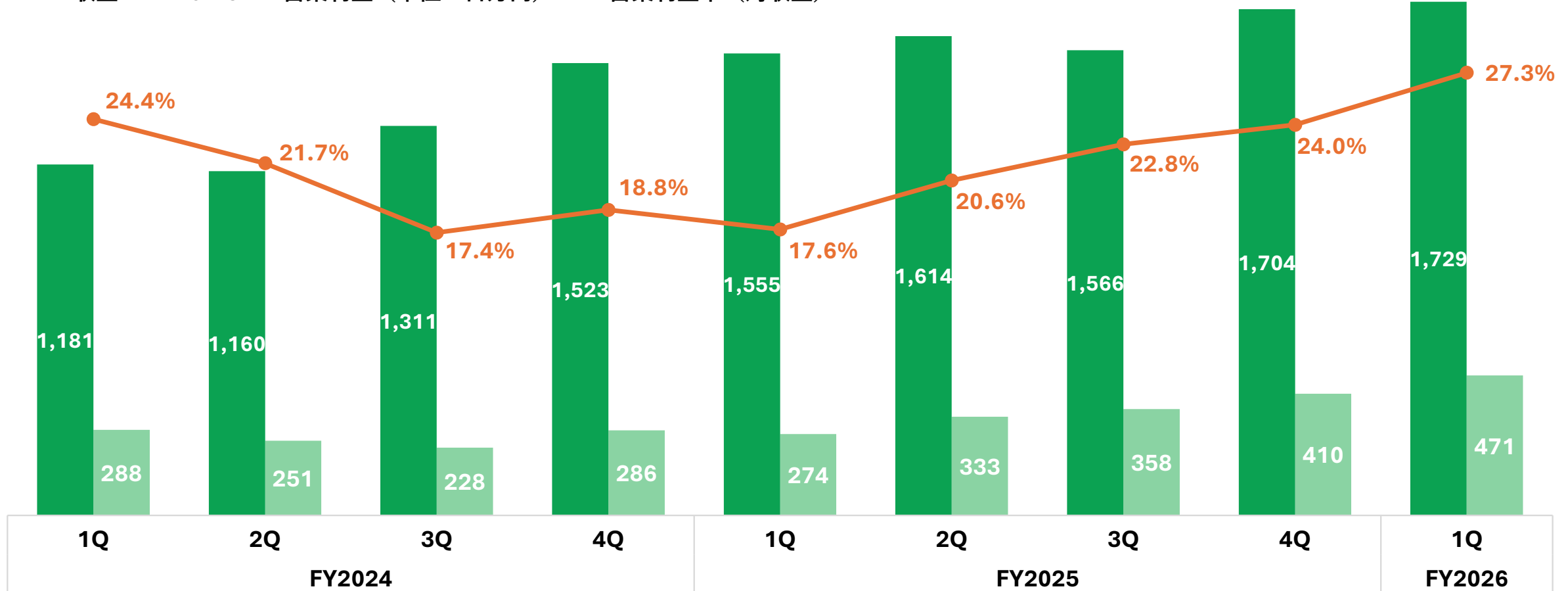
既存顧客の拡大により売上高は前期比で+17.5%、収益は前期比+11.2%の成長、人件費を中心に販管費が減少し、Non-GAAP営業利益は**+72.1%**と大幅増益

(単位：百万円)	2026年 12月期 1Q				2025年 12月期 1Q		
	金額	対売上高比率	対収益比率	前年同期比	金額	対売上高比率	対収益比率
収 益	1,729	28.4%	100.0%	+11.2%	1,555	30.0%	100.0%
売上総利益	1,026	16.8%	59.3%	+15.7%	887	17.1%	57.0%
販売管理費	568	9.3%	32.9%	-9.4%	627	12.1%	40.3%
Non-GAAP営業利益	471	7.7%	27.3%	+72.1%	274	5.3%	17.6%
【参考】 売上高	6,097	100.0%	—	+17.5%	5,190	100.0%	—

ダイレクトビジネス事業 四半期業績推移

収益の順調な拡大に加えて、生産性改善が継続しNon-GAAP営業利益率は**前期比+9.7Pt**の改善

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益（単位：百万円） ● 営業利益率（対収益）



04 データ・ソリューション事業

データ・ソリューション事業 業績概況

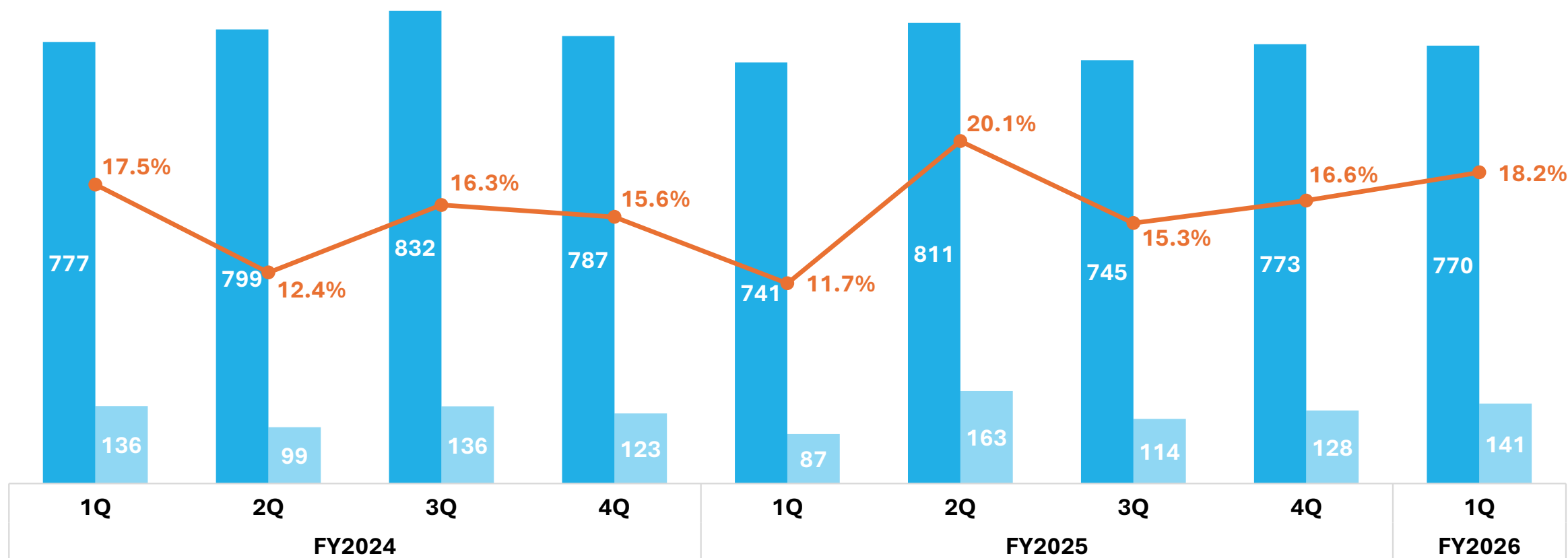
社内エンジニアによる開発案件に加え、AI研修案件等も拡大し増収、前期から進めてきた海外拠点の人員数適正化により**+61.6%の大幅増益**

(単位：百万円)	2026年 12月期 1Q			2025年 12月期 1Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	770	100.0%	+4.0%	741	100.0%
売上総利益	474	61.6%	+5.7%	449	60.6%
販売管理費	334	43.4%	-7.7%	362	48.9%
Non-GAAP営業利益	141	18.2%	+61.6%	87	11.7%
【参考】売上高	770	100.0%	+4.0%	741	100.0%

データ・ソリューション事業 四半期業績推移

海外拠点を中心とした人員数の適正化と稼働率の改善により、
Non-GAAP営業利益率は**前期比+6.5Pt上昇**

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益（単位：百万円） ● 営業利益率（対収益）



05

株主還元施策について

期中の剰余金配当の実施

株主への利益還元の機会を充実させるとともに、当社株式の投資魅力をより一層高めることを目的に、期中の剰余金配当を実施

FY2026 1株当たり年間配当予想

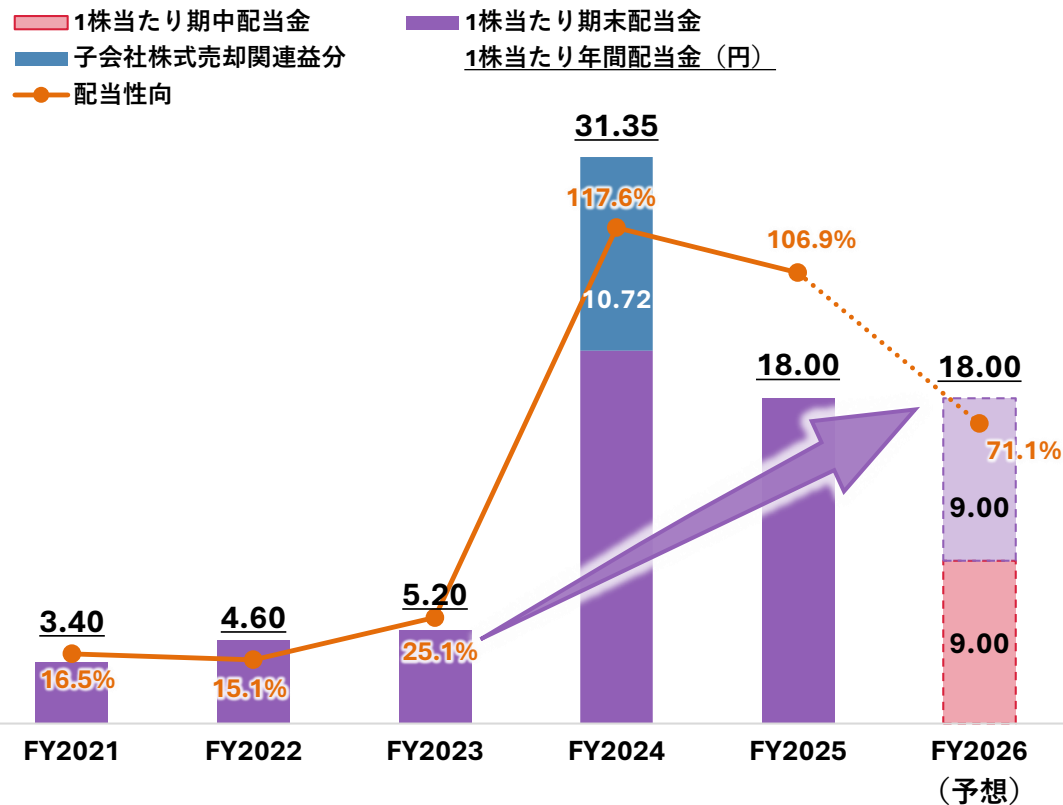
	前回予想	今回予想	前期実績
1株当たり 配当金	18.00円	期中 9.00円	18.00円
		期末 9.00円	
		合計 18.00円	

* 期中の剰余金配当基準日：2026年6月30日
 期末配当基準日：2026年12月31日

FY2026 EPS予想

	業績予想
1株当たり 当期利益 (EPS)	25.31円

1株当たり配当金推移



* 詳細は2026年4月21日開示の適時開示を参照

株主優待制度の導入

当社株式の投資魅力をより一層高め、多くの株主の皆さまに
当社株式を中長期的に保有いただくことを目的に、**株主優待制度の導入を決定**

適時開示前日である4月20日の終値（436円）を基準として算定した利回りは
優待利回りで1.26%、配当利回りで4.13%、総利回りとしては5.39%

制度概要

基準日

2026年12月末

進呈時期

定時株主総会のご案内とともに2027年3月頃、関連書類をご送付予定

対象となる株主様

1,000株以上保有されている株主様が対象

優待内容

対象株主様に一律で各種電子マネーに交換可能な優待ポイント※**5,500円**相当

※詳細については追ってご案内予定です

株式関連スケジュール

■ 今期の株式関連スケジュールとしては以下を予定



* 詳細は2026年4月21日開示の適時開示を参照

06

業績予想の修正及び進捗状況

2026年12月期 通期業績予想の修正（連結・再掲）

- 1Q実績における既存顧客拡大、新規顧客獲得の寄与による増収と、これまで進めてきた構造改革の成果としての生産性向上などの好調さや足元の状況を踏まえ、**通期業績予想を上方修正** 中期経営計画のFY2027目標数値である**Non-GAAP営業利益54億円について1年前倒しでの達成**を見込む

(単位：百万円)	2025年12月期 実績	2026年12月期 前回発表予想	2026年12月期 今回発表予想	増加率	予想成長率 (前期比)	
収 益	30,309	32,420	33,300	+2.7%	+9.9%	
Non-GAAP営業利益	4,414	4,800	5,400	+12.5%	+22.3%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,491	4,350	5,250	+20.7%	+50.4%	
1株当たり当期利益（EPS）（円）	16.83	20.97	25.31	+4.34	+8.48	
【参考】	売上高	148,783	158,600	163,000	+2.8%	+9.6%
	対売上高収益率	20.4%	20.4%	20.4%	—	—
1株当たり配当金（円）	18.00	18.00	期中	9.00	±0	±0
			期末	9.00		

* 詳細は2026年5月13日開示の適時開示を参照

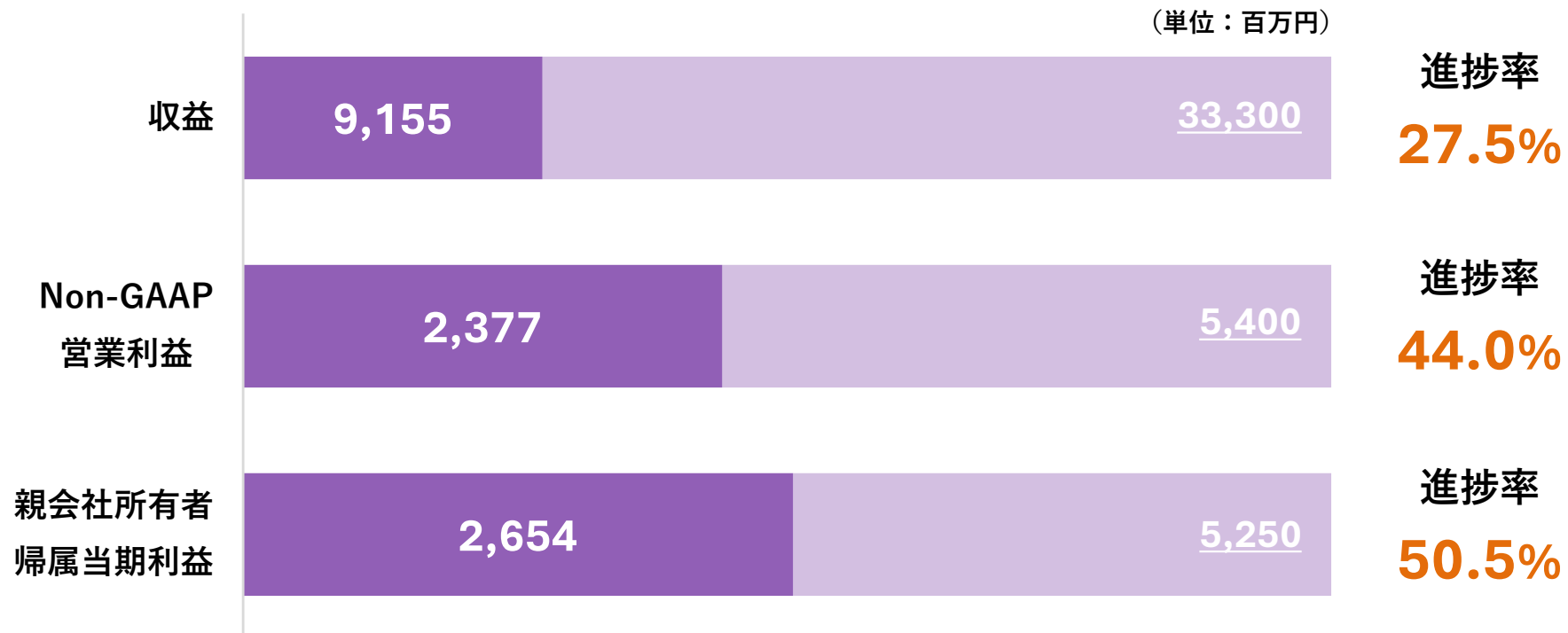
2026年12月期 通期業績予想の修正（セグメント別）

マーケティング・コミュニケーション事業を中心に、すべての事業において増収増益を見込む

(単位：百万円)	収 益					Non-GAAP営業利益				
	FY2025 実績	FY2026 前回発表予想	FY2026 今回発表予想	増加率	前期比	FY2025 実績	FY2026 前回発表予想	FY2026 今回発表予想	増加率	前期比
マーケティング・ コミュニケーション	21,550	23,200	24,000	+3.4%	+11.4%	5,497	6,400	7,000	+9.4%	+27.3%
ダイレクトビジネス	6,439	6,600	6,800	+3.0%	+5.6%	1,374	1,300	1,400	+7.7%	+1.9%
データ・ ソリューション	3,069	3,600	3,600	—	+17.3%	492	640	640	—	+30.2%
消去・全社 (その他事業含む)	-750	-980	-1,100	—	—	-2,948	-3,540	-3,640	—	—
連 結	30,309	32,420	33,300	+2.7%	+9.9%	4,414	4,800	5,400	+12.5%	+22.3%

修正後業績予想に対する進捗状況（連結）

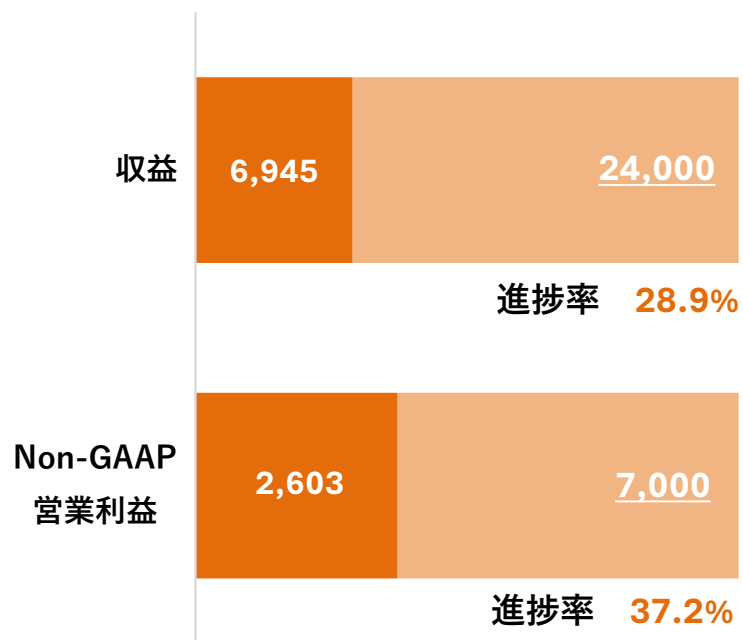
- 修正後の業績予想に対しても、特に利益面での上振れ感はあるものの、現時点における下期見通しとしては、世界情勢をはじめとしたマクロ環境の不透明感に起因する当社業績への直接的な影響は見込まない一方で、広告市場全体への間接的な影響が生じる可能性を鑑み、保守的な前提を置く引き続き、事業成長に加えて、**筋肉質な事業基盤の構築による収益性、生産性の向上**に努める



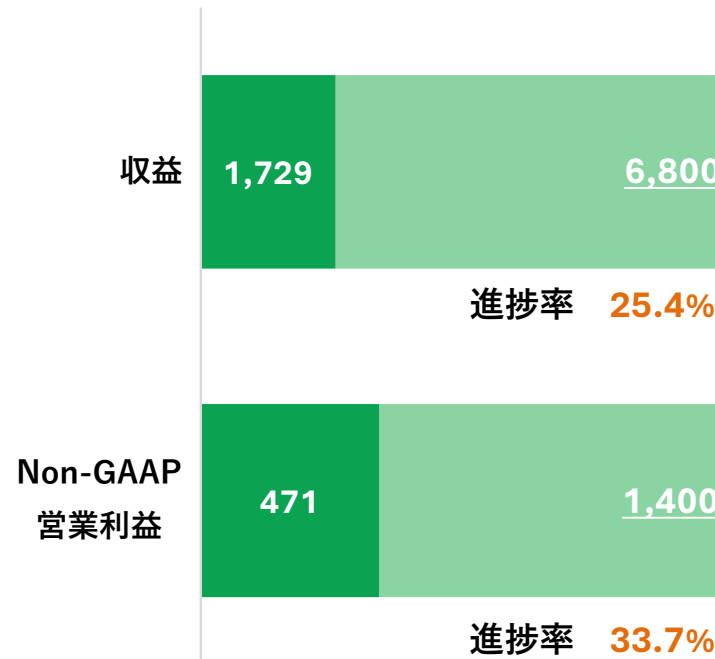
修正後業績予想に対する進捗状況（セグメント別）

修正後の業績予想に対しては、すべての事業において順調な進捗

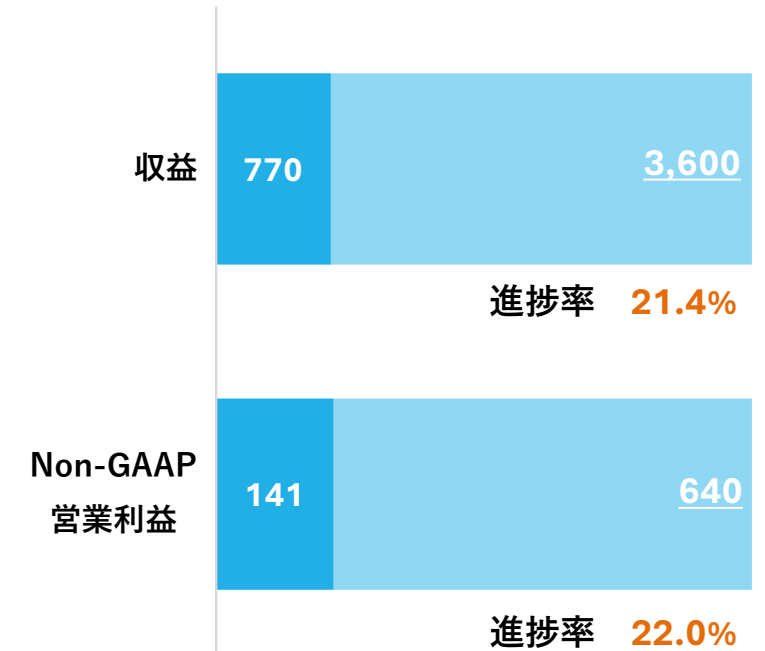
マーケティング・ コミュニケーション事業



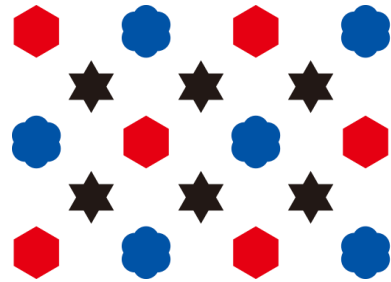
ダイレクトビジネス事業



データ・ソリューション事業



本日はありがとうございました



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス CEOオフィス コーポレートコミュニケーション部 IR・SR課

www.septeni-holdings.co.jp

E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2026年5月13日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります

07

補足資料

連結費用構成 (IFRS)

(単位：百万円)	FY2024				FY2025				FY2026	QonQ	YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
売上原価合計	1,310	1,392	1,668	1,712	1,842	1,816	1,661	1,826	1,971	+7.9%	+7.0%
人件費	422	443	430	472	447	454	450	461	460	-0.2%	+2.9%
外注費	592	606	932	960	1,115	1,045	959	1,050	1,212	+15.4%	+8.7%
その他	296	343	305	280	280	317	252	315	299	-5.1%	+6.8%
販管費合計	4,725	4,851	4,759	4,760	4,810	4,712	4,639	4,672	4,824	+3.3%	+0.3%
人件費 ※1	3,227	3,334	3,236	3,171	3,194	3,195	3,144	3,124	3,147	+0.8%	-1.5%
従業員賞与 ※2	177	130	156	174	195	182	168	206	306	+48.4%	+56.7%
賃借料等	266	266	267	271	280	276	281	281	280	-0.5%	-0.0%
販促費・広告費	180	198	193	140	126	139	165	161	134	-16.9%	+6.1%
システム利用料	266	289	296	321	312	294	293	314	305	-2.9%	-2.4%
租税公課	104	102	102	92	95	93	95	76	93	+22.3%	-2.1%
その他	506	532	508	590	607	533	493	510	559	+9.7%	-7.8%

※1 Non-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬 (BIP信託) を人件費として見積計上 ※2 業績連動賞与の見積も含む

連結B/S

(単位：百万円)	2025年12月期 期末	2026年12月期 1Q末	増減
流動資産合計	45,547	51,373	+5,826
非流動資産合計	50,798	49,892	-906
資産合計	96,345	101,264	+4,920
流動負債合計	29,270	35,369	+6,099
非流動負債合計	491	362	-129
負債合計	29,761	35,730	+5,970
資本合計	66,584	65,534	-1,050
負債及び資本合計	96,345	101,264	+4,920

グループ理念体系



ビジョン

新しい時代をつくる人が育つ場となる
クリエイティビティとテクノロジーによって、
なめらかな未来へつながるドアを広げる

複雑化した世の中を、
デジタルの力で明るくシンプルに

ミッション

ひとりひとりの
アントレプレナーシップで
世界を元気に

バリュー

つよく、やさしく、おもしろく。

社是

ひねらんかい



サステナビリティ方針とマテリアリティ

グループ理念からミッションとビジョンをサステナビリティ方針として採用

サステナビリティ方針

- ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に
新しい時代をつくる人が育つ場となる
- クリエイティビティとテクノロジーによって、なめらかな未来へつながるドアを広げる
複雑化した世の中を、デジタルの力で明るくシンプルに

サステナビリティ活動の推進

気候変動への対応

新しい時代を
つくる人の育成による
企業価値の向上

クリエイティビティと
テクノロジーによる
なめらかな社会の実現

非連続成長を支える
先進的なガバナンス
体制の構築

サステナビリティの取組み

持続可能な社会および当社のミッション・ビジョンの実現に向けて 特定した4つのマテリアリティに沿った活動を推進

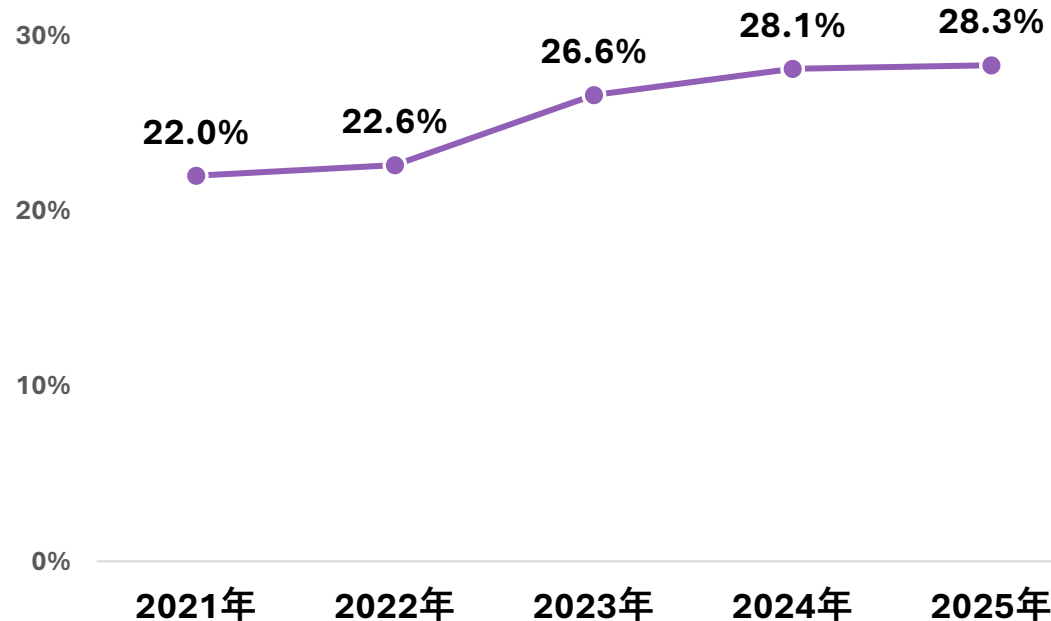
マテリアリティ	マテリアリティの小区分	主なKPI
<ul style="list-style-type: none"> 新しい時代をつくる人の育成による企業価値の向上 クリエイティビティとテクノロジーによるなめらかな社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルHRによる再現性のある人材育成 DEI（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン） アントレプレナーシップの民主化 人権の尊重 なめらかな社会につながる価値創造 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までに女性管理職比率を30%に向上 人権リスクへの適切な対応
<ul style="list-style-type: none"> 気候変動への対応 	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量の削減とTCFD提言に沿った情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までにスコープ1・2の排出量を70%削減
<ul style="list-style-type: none"> 非連続成長を支える先進的なガバナンス体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 非連続の成長のための取り組み リスク低減のための取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 事業ポートフォリオ経営推進による経営指標の改善 エグゼクティブセッション継続実施 実効性評価継続実施

人的資本経営における取組みと進捗

当社グループにおいて特に優先度の高いマテリアリティである
Social（社会） のなかでも人的資本関連のKPIを設定し、各種施策を推進

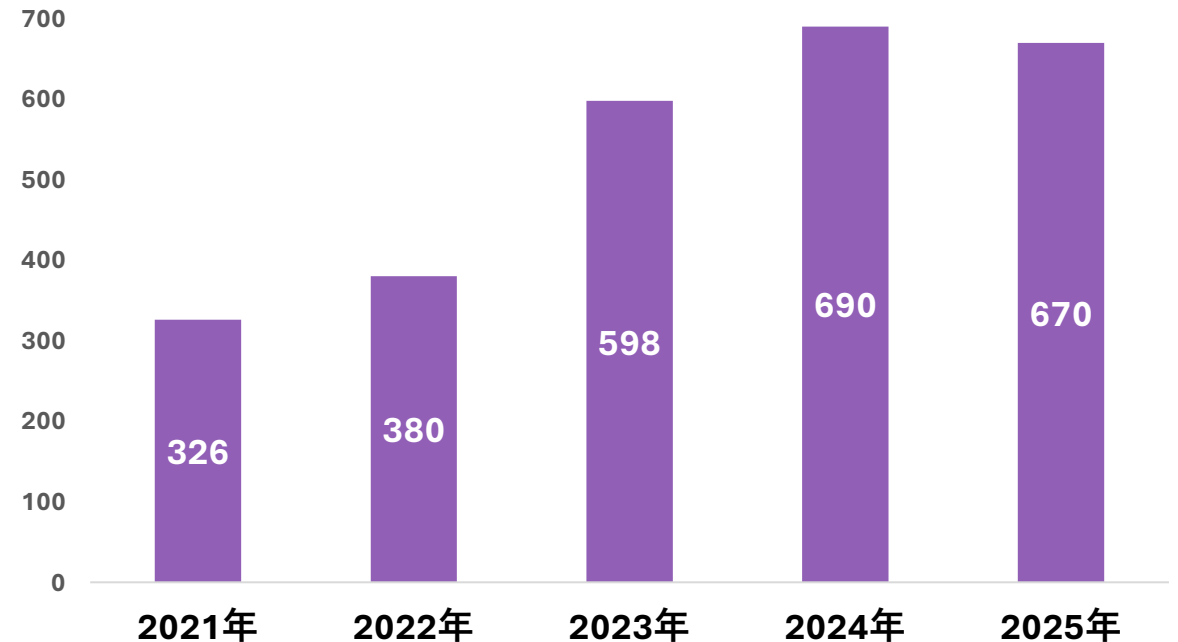
女性管理職比率※

目標：2030年までに女性管理職比率30%（国内全体）



従業員持株会入会者推移

目標：前年比増 ■ 入会者数（単位：名）



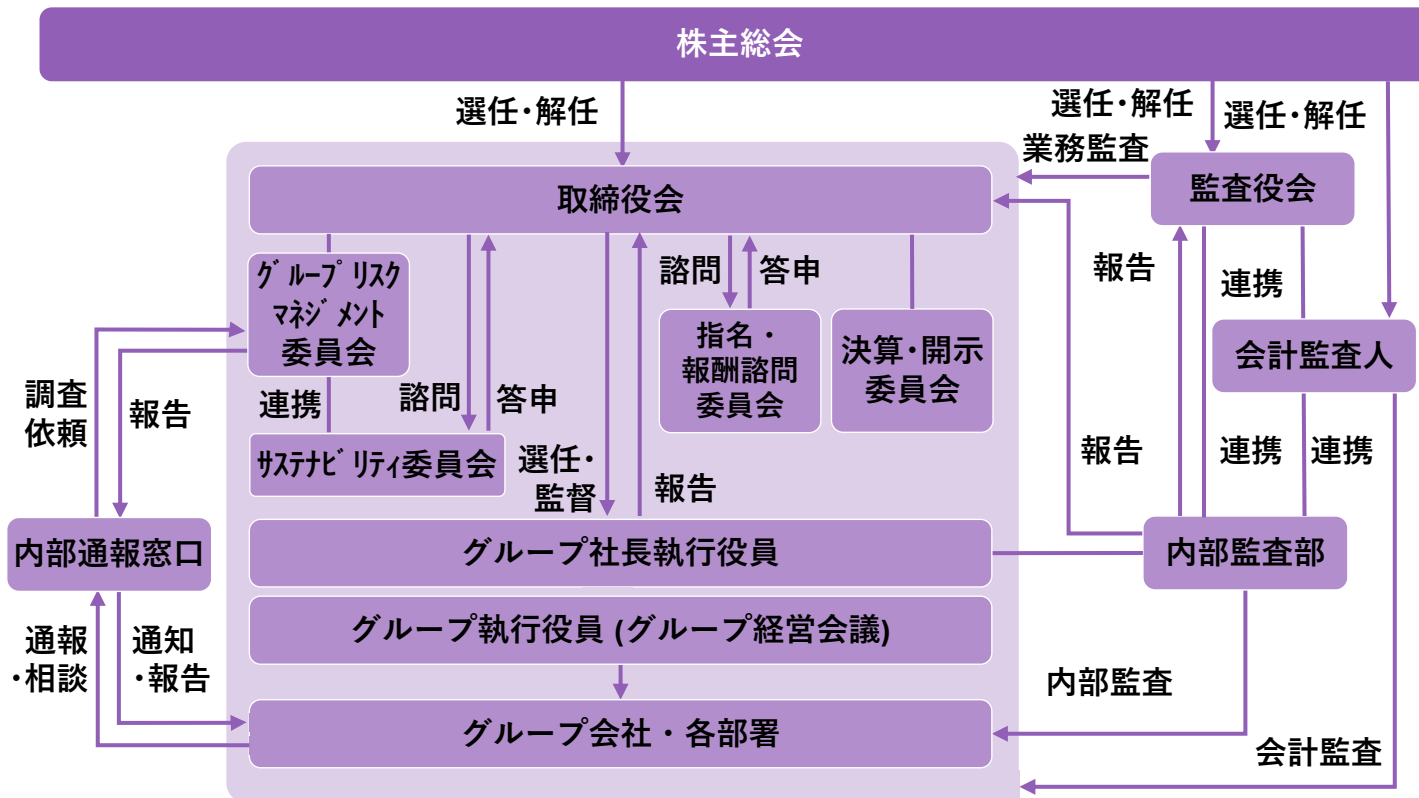
* サステナビリティ情報はこちらをご覧ください：<https://www.septeni-holdings.co.jp/csr/data.html>

※2023年までは国内主要会社、各年10月時点。2024年以降は国内グループ会社、12月末時点。2024年数値を遡及修正

コーポレート・ガバナンスの強化

企業理念に基づく行動及び透明公正で効率的な意思決定に加え、法令遵守と企業業績の適切な監督を目的とした体制の整備・運用に注力

コーポレート・ガバナンス体制図



ガバナンス改革の変遷

- | | |
|--------|--|
| FY2015 | ・ 社外取締役を指名 |
| FY2016 | ・ 取締役会実効性評価を導入
・ 各種委員会設置によるチェック機能の強化
・ 買収防衛策の廃止 |
| FY2017 | ・ 役員向け業績連動型株式報酬制度導入
・ 委任型執行役員制度の導入
⇒ 監督と執行の分離 |
| FY2022 | ・ サステナビリティ委員会の設置、ESGへの取り組み強化
・ 取締役の独立性・多様性をさらに強化
社外比率：4名/7名、女性取締役：1名/7名
(決算発表日時点) |
| FY2023 | ・ 指名・報酬諮問委員会を設置 |
| FY2026 | ・ 役員向け業績連動型株式報酬制度の対象に社外取締役を追加 (固定部分のみ) |

事業区分別 主要グループ会社

2026年5月13日現在

マーケティング・コミュニケーション事業

SEPTENI SEPTENI GLOBAL
 Delight Tube Septeni Ad CREATIVE
 SEPTENI CORE
 LION & LION SIGNCOSIGN
 SEPTENI SPORTS&ENTERTAINMENT AI CRE8ION LAB

ダイレクトビジネス事業

dentsu direct dentsu elfto architect

データ・ソリューション事業

FLINTERS
 TRICORN Septeni Cross Gate

その他事業

Human Capital Lab

持分法適用関連会社

DENTSU DIGITAL

PRIMECROSS

Sports IT Solution

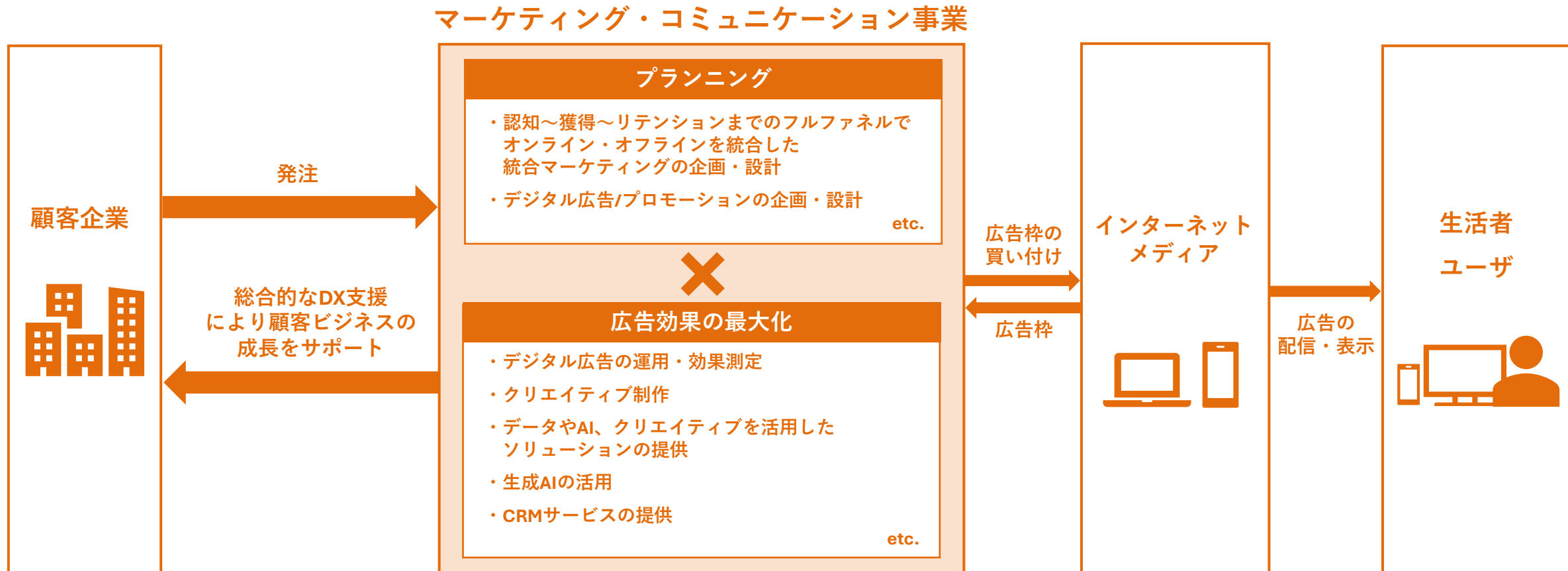
& and factory

COMISMA

セプテーニ・ホールディングス (持株会社)

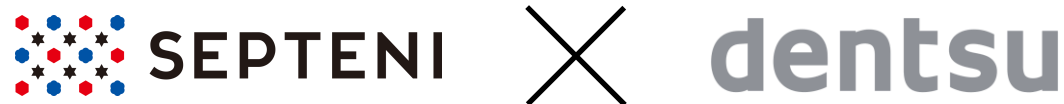
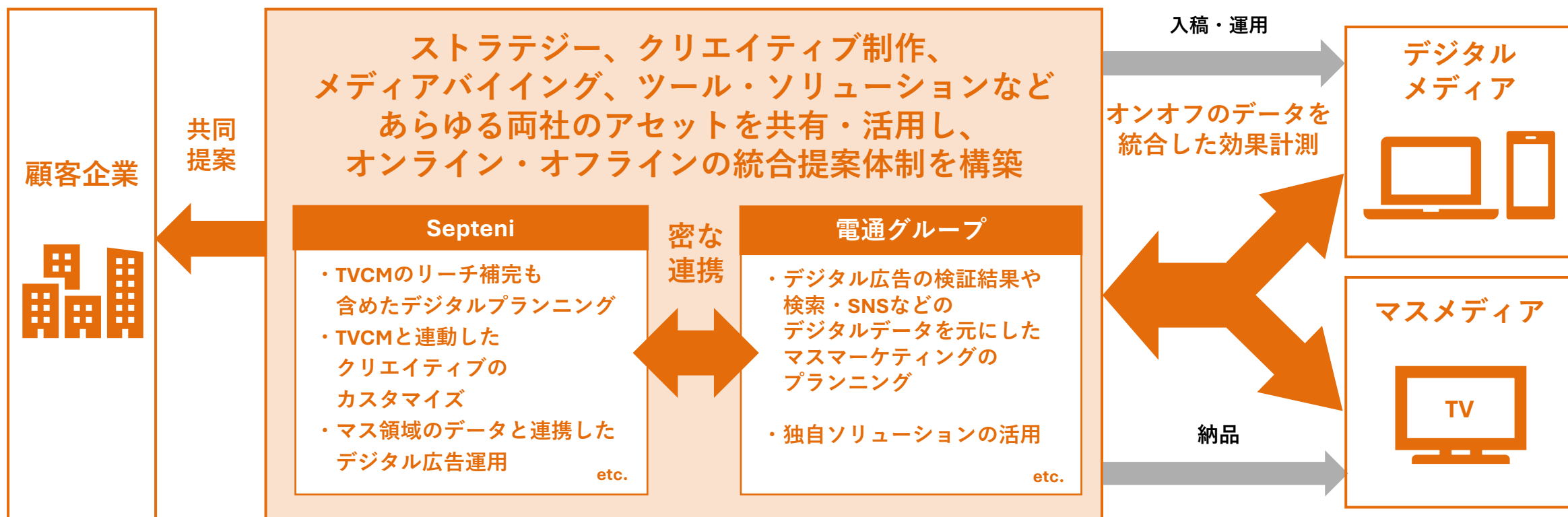
マーケティング・コミュニケーション事業 ビジネスモデル

- デジタル広告の販売と運用を軸とした
統合マーケティングサービスの提供により、企業のDXの総合的な支援を行う



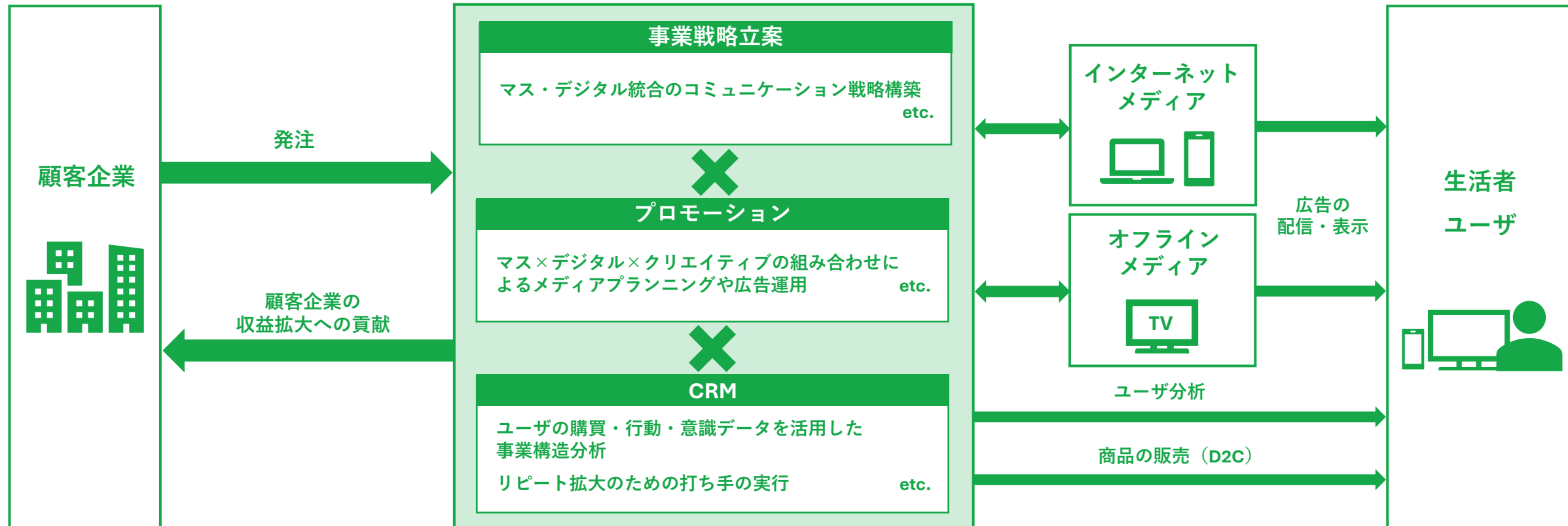
マーケティング・コミュニケーション事業 電通グループとの業務提携の概要

両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の統合マーケティング提案（イメージ）


dentsu


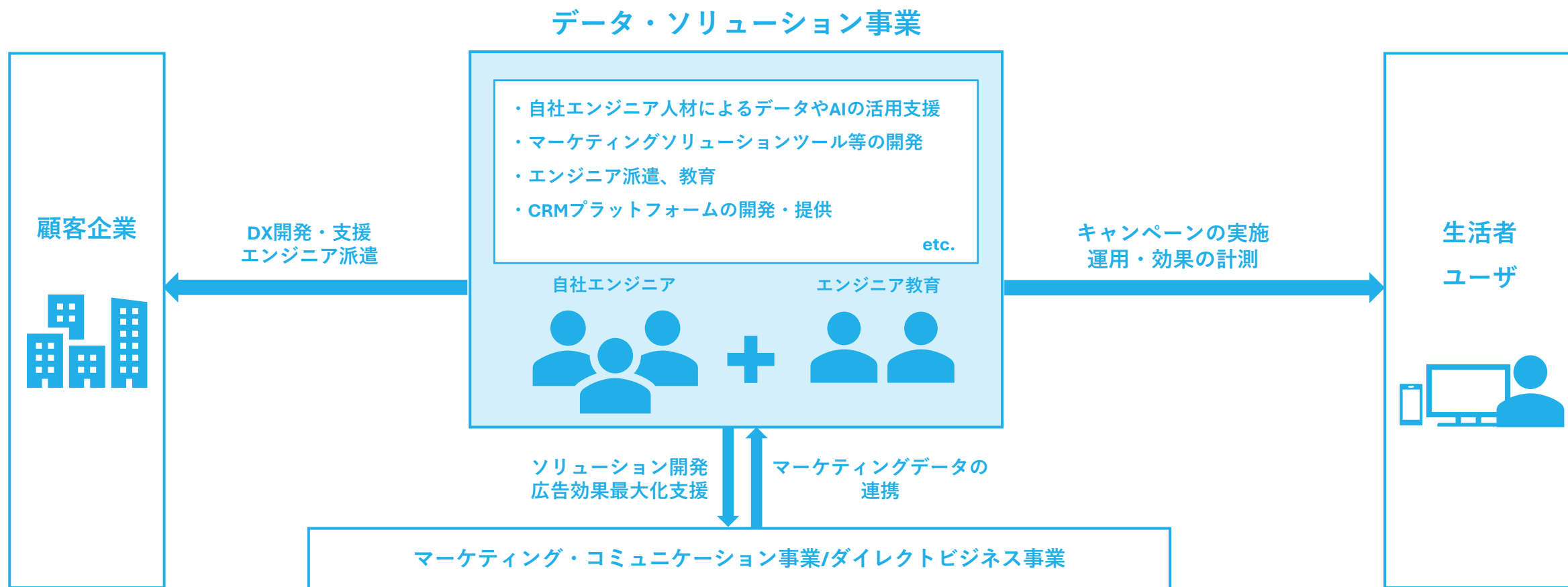
ダイレクトビジネス事業 ビジネスモデル

— BtoC、BtoB領域において事業戦略立案からダイレクトレスポンス手法によるプロモーション、CRMまで一気通貫で実行することでオフラインメディアとデジタルを統合した顧客支援を行う



データ・ソリューション事業 ビジネスモデル

デジタルマーケティング領域で長年蓄積された知識・ノウハウを生かし、データの収集・統合・活用や、データやAIを活用したソリューションの開発・提供、顧客の開発支援やエンジニア人材の派遣を提供



セプターニグループのストーリー

SEPTENI STORY

創業35年の歴史と挑戦の軌跡をたどるアーカイブサイト
「SEPTENI STORY」を公開しました

詳細は下記の画像をクリックもしくはQRコードからご覧ください



統合報告書

2025年度版統合報告書は5月末頃発刊予定です

2024年度版統合報告書では、中長期で目指したい姿に向けた
マネジメントメッセージや従業員の声を紹介しています

詳細は下記の画像をクリックもしくはQRコードからご覧ください



セプターニグループ公式発信

人やカルチャーにまつわる様々な取組みを発信する公式note内に
「IR マガジン」を開設し、株主・投資家の皆さまに向けた情報を発信しています
その他の公式SNSとあわせて、ぜひご覧ください

公式note：https://note.com/septeni_group

公式X：https://x.com/Septeni_PR

セプターニ スポーツ公式X：https://x.com/SEPTENI_SPORTS

公式Facebook：<https://www.facebook.com/septenigroup>

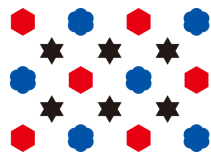


セプターニHD IR Magazine

セプターニHD・IRマガジン



Septeni Group 18本



SEPTENI

株式会社セプテーニ・ホールディングス

CEOオフィス コーポレートコミュニケーション部 IR・SR課

WEB : www.septeni-holdings.co.jp E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

2023年12月期より、IPプラットフォーム事業を非継続事業に組替表示しているため、収益、営業利益、Non-GAAP営業利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております

マーケティング・コミュニケーション事業およびダイレクトビジネス事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用等の買収行為に関連する損益

及び減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2026年5月13日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません

世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります

Copyright ©2026 SEPTENI HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.